

令和5年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森第六中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・おおむね授業時間内で作品が完成させられるよう、見通しを持った制作指導が行えた。
- ・題材に合わせた鑑賞の授業を行うことで、制作とのつながりを意識させることができた。

(2) 課題

- ・題材によっては生徒の制作スピードの差が大きいため、制作に遅れが出る生徒のフォローを強化する必要がある。
- ・ICTを活用した効果的な制作過程の記録方法を考える。

2 大田区学習効果測定の結果分析

実施なしのため省略

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
クロッキーをとおして基礎的な描画力を身に付けていく。自他の作品を大切にし、良いところを見つけ合えるよう取り組ませる。	絵の具の使い方や色の知識や構成の要素を組み立てる能力を身に着けること。 限られた時間の中で十分な表現が行えるよう計画的に取り組ませる。	授業規律を守り、自身の作品と十分に向き合って制作を行う。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習した技能を生かして制作を行えるようにする。 自国の文化について学び、作品に活かす。	素材の特徴を生かした表現ができるようにする。 自国の文化の特徴を理解させ、自分らしく表現できるよう支援する。	制作に見通しを持ち、順序立てて取り組むよう指導する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
道具の扱いや技術について学ぶことで、専門性の高い分野に取り組めるようにする。	伝統工芸やメディア表現の分野から、自分なりの視点を持つような題材を扱う。	美術史と絡めて、授業で扱う分野を理解できるよう指導する。